



Webversion



## IDF PRESS RELEASE

### IDFプレスリリース

2019年11月18日、ブリュッセル発

**DISARM プロジェクトが畜産の抗生物質必要量を減らすための戦略を共有するプラットフォームを立ち上げます**

**DISARM project launches platforms to share strategies to reduce livestock antibiotic requirements**

抗生物質耐性への革新的な解決策を見つけ出すことに専念する活動ネットワークである DISARM は、今月、プラットフォームの新しい範囲を立ち上げ（紹介ビデオは[こちら](#)をご覧ください）、農場にいる家畜の健康と抗生物質の使用に関する議論に参加する農家、獣医師、農業顧問やその他の人々を招待し、12月3日にブリュッセルで開催される第一回目の公式の[DISARM イベント](#)への参加を勧めています。

DISARM プロジェクトは、ヨーロッパ全体の農業セクターの人々を結びつけ、オンラインと直接的な方法の両方で知識とアイデアを共有します。家畜を健康に保ち、病気を予防し、抗生物質治療の適切で慎重な取り扱いを促進することにより、畜産営農における抗生物質治療の必要性を減らすことを目指しています。

このネットワークが開発した新しいリソースには、イベントやワークショップの詳細を提供する専用の DISARM ウェブサイト [www.disarmproject.eu](http://www.disarmproject.eu) や、メンバーが質問したり自身の考えや経験を共有でき、欧州全体のステークホルダーと畜産セクターの間での知識とイノベーションの共有を促進する、Facebook ベースのディスカッショングループ [DISARM 実践コミュニティ](#)が含まれます。議論のトピックには、力強く強靭性のある家畜の繁殖、遺伝学、若齢期管理、バイオセキュリティ、畜舎、飼料、水、添加物、精密畜産技術が含まれます。

12月3日にブリュッセルで開催される第一回目の公式 [DISARM イベント](#) では、プロジェクトの紹介、討議フォーラムおよび Q&A セッションを行います。直接参加できない方は、ライブストリーム経由でオンライン参加可能です。このイベントの詳細、および DISARM の進捗状況のアップデートは、[DISARM ウェブサイト](#) で入手できます。利害関係者は、DISARM ニュースレターを購読でき、ソーシャルメディア@projectdisarm でこのネットワークの活動をフォローできます。

### **畜産営農における抗生物質の責任ある使用の促進**

国際酪農連盟 (IDF) は 2019 年に DISARM プロジェクトに参加し、ベストプラクティス (最善の慣行) を積極的に特定、共有、および普及することにより、畜産営農における抗生物質の責任ある使用を奨励しています。

IDF は、AMR の発生リスクを最小限に抑えつつ、家畜の病気の治療に効果を発揮し続けることを保証するために、世界の酪農セクターでの慎重かつ責任ある抗菌薬の使用を提唱しています。これは、動物集団内、環境内、および動物と人間間の耐性微生物の移動を防止または削減するために重要な手段です。

「私たちの方針は、公共消費のために安全で栄養価の高い乳を生産できる健康な乳用家畜群を奨励することです」と、キャロライン・エモンド IDF 事務総長は述べました。「私たちは、このセクターが DISARM プロジェクトにもっと関与すること、特に家畜の健康を改善し、農場での抗生物質の使用を減らすことに関心のある農家や獣医師を強く奨励します。」

プロジェクトに参加する機会には、事例研究農場としてのボランティア、マルチアクター農場のヘルスチームアプローチの使用、家畜の健康の改善、農場での抗生物質の必要量を削減した優れた実践を示すビデオの作成、イベントやワークショップの開催が含まれます。これらは、家畜供給企業が自社のイノベーション、研究開発、またはデモ農場を紹介するためのさまざまな機会でもあります。

DISARM の詳細や参加方法については、[DISARM ウェブサイト](#) にアクセスするか、[info@disarmproject.eu](mailto:info@disarmproject.eu) にご連絡ください。

注記：

DISARM (抗生物質耐性管理のための革新的な解決策の普及 Disseminating

Innovative Solutions for Antibiotic Resistance Management) は、農家、獣医、顧問サービス、学者、および業界間のコラボレーションです。抗生物質耐性の脅威を軽減するために、畜産における抗生物質の慎重な使用を促進することを目的としています。2019年1月に開始されたこのプロジェクトは、家畜の健康を促進して、農場での抗生物質治療の必要性を減らすための効果的な実践とアプローチを広め、2021年12月まで継続します。

DISARM は、Grant Agreement No 817591 に基づき、欧州連合の Horizon 2020 の研究・イノベーションプログラムから資金を受けました。

完

翻訳：J I D F 事務局

編者注：仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。